

1. 科目名 (単位数)	社会調査法 (2 単位)	3. 科目番号	SBMP2107
2. 授業担当教員	加藤 典子		SSMP2107
4. 授業形態	講義、小テスト、ディスカッション、調査方法に関する実習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>本講義は国が定める社会福祉士および精神保健福祉士の養成カリキュラムにおける「社会福祉調査の基礎」(旧カリキュラムでは「社会調査の基礎」)に対応するものである。本講義では、社会調査および社会福祉調査の基礎的事項を学習するが、社会福祉調査は社会福祉領域での社会調査のことであるため、本講義の内容の多くの部分は社会調査に関するものとなる。</p> <p>社会調査の目的は、社会事象について現地調査を行い、データを収集して、調査結果から一般的な規則性を見出し、必要に応じて取るべき行動を定めようとすることである。現在、社会福祉など専門分野では、人々のニーズの把握や解決策を量的調査や質的調査に基づいて提案するなど科学的エビデンスが求められている。本講義を受講することにより、社会調査の重要性、世の中に氾濫する社会調査の真実や問題点、社会福祉領域における社会調査の活用法について把握することが可能となる。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.社会調査・社会福祉調査の意義と目的について理解し、説明できるようになる。 2.社会調査と社会福祉の歴史的関係について理解し、説明できるようになる。 3.社会調査・社会福祉調査における倫理や個人情報保護の留意点について理解し、説明できるようになる。 4.量的調査と質的調査の方法および調査の結果について適切に理解し、説明できるようになる。 5.仮説設定→質問項目作成→現地調査→データ分析→分析結果の発表という調査の流れについて見通しを持てるようになる。 6.ソーシャルワークにおける評価の意義と方法について理解し、説明できるようになる。 7.社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験に必要な基礎知識について説明できるようになる(受験予定学生の場合)。 		
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	テーマを設け、量的調査の質問票を作成する。		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 橋本有理子編著『最新・はじめて学ぶ社会福祉 5 社会福祉調査の基礎』ミネルヴァ書房、2021。 *授業中に適宜資料を配布する。</p> <p>【参考書】 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 5 社会福祉調査の基礎』中央法規出版、2021。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.社会調査・社会福祉調査の意義と目的について理解し、説明できるようになったか。 2.社会調査と社会福祉の歴史的関係について理解し、説明できるようになったか。 3.社会調査・社会福祉調査における倫理や個人情報保護の留意点について理解し、説明できるようになったか。 4.量的調査と質的調査の方法および調査の結果について適切に理解し、説明できるようになったか。 5.仮説設定→質問項目作成→現地調査→データ分析→分析結果の発表という調査の流れについて見通しを持てるようになったか。 6.ソーシャルワークにおける評価の意義と方法について理解し、説明できるようになったか。 <p>○評定の方法 小テスト 40% 授業の態度や内容の把握など 30% レポート、調査方法に関する実習 30%</p>		
12. 受講生へのメッセージ	インターネットや新聞を見ると、「子育て意識調査」から「若者意識調査」まで、様々な社会調査がある。その中で、自分の気になる調査を見つけたら、誰が実施しているのか、どんな結果なのか、方法におかしいところはないか、よく読んでみる。何か、おもしろいことが見つかるかもしれない。		
13. オフィスアワー	授業時間の前後など気軽に相談・質問すること。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション(講義概要の説明) 社会調査の目的とその種類	事前学習	テキスト1章1節(pp.1~10)を読む。
		事後学習	調査の目的と種類についてまとめる。
第2回	社会調査の科学	事前学習	テキスト1章2節(pp.11~19)を読む。
		事後学習	社会調査の科学を理解する。
第3回	社会調査の倫理	事前学習	テキスト1章3節(pp.20~30)を読む。
		事後学習	社会調査の倫理について、確認する。
第4回	量的調査①～量的調査の性質、企画と準備	事前学習	テキスト2章1~2節(pp.31~44)を読む。
		事後学習	問いの設定を試みる。
第5回	量的調査②～調査票の作成	事前学習	テキスト2章3節(pp.45~54)を読む。
		事後学習	関心あるテーマから仮説を考える。
第6回	量的調査③～調査の実施、調査結果の集計と分析	事前学習	テキスト2章4~5節(pp.55~82)を読む。
		事後学習	仮説から作業仮説をつくる。

第7回	量的調査④～質問紙調査の実際	事前学習	テキスト4章1節 (pp.125～130) を読む。
		事後学習	質問文と選択肢を考える。
第8回	量的調査⑤～調査票の事例、調査報告書の事例	事前学習	テキスト4章3～4節 (pp. 134～160) を読む。
		事後学習	量的調査の質問紙を完成させる。
第9回	質的調査①～質的調査の特徴と種類	事前学習	テキスト3章1節 (pp. 84～91) を読む。
		事後学習	質的調査の特徴と種類を整理する。
第10回	質的調査②～観察法の実施と記録法	事前学習	テキスト3章2節 (pp. 92～100) を読む。
		事後学習	観察法の実施と記録法について理解する。
第11回	質的調査③～面接法の実施と記録法	事前学習	テキスト3章3節 (pp.101～109) を読む。
		事後学習	面接法の実施と記録法について理解する。
第12回	質的調査④～質的調査データの分析と信頼性・妥当性	事前学習	テキスト3章4節 (pp. 110～124) を読む。
		事後学習	質的調査データの分析について理解する。
第13回	質的調査⑤～グラウンデッド・セオリー・アプローチの実際	事前学習	テキスト5章1節 (pp. 161～171) を読む。
		事後学習	作成した量的調査の考察を行う。
第14回	質的調査⑥～グラウンデッド・セオリー・アプローチの事例	事前学習	テキスト5章2節 (pp. 172～194) を読む。
		事後学習	グラウンデッド・セオリー・アプローチについて整理する。
第15回	社会調査におけるIT活用	事前学習	テキスト6章 (pp.195～208) を読む。
		事後学習	社会調査におけるIT活用を知る。